



1. はじめに

梅雨が長引き、どんよりとした天気が続いておりますが、皆様お元気でしょうか。令和元年も半年が過ぎ、「れいわ」の響きにも馴染んで来たように思われます。

さて、PTA総会、3学年部会、2学年部会と本校の行事にご参加いただき、ありがとうございます。その際にもお話いたしました、今年度は、進学に関する非常に厳しい状況が報じられており、油断できない状況となっております。3年生のみならず、2年生1年生に関する情報も多く報道されており、最新のニュースへの注意が必要になってきております。

今回も、保護者の皆様にお伝えしたい情報の一部を掲載しましたので、ご精読ください。また、2学期に用意されております、各学年部会に是非ご出席ください。

2. 夏休みの過ごし方

第1学年 … 「夢・創造プログラム」が始まって半年が経ちました。新入生合宿や様々な探究プログラムをすでに経験し、生徒自身も自己の将来について、少しずつ考え始めていることと推察いたします。

今年度から始まりましたこの「夢創造プログラム」は、「主体的な深い学び」を実現するための第1歩としてスタートしました。そして夏季休業中には、主体的な学びを深めるための取り組みが十分にできる時間が用意されています。すでに生徒諸君には「参加可能なプログラムの例」を2回にわたって配布しており、その例をもとに夏季休業中に参加できるプログラムを各自がそれぞれに探して、計画するという指導が行われております。是非ご家族でご相談の上、お子様の可能性を広げる活動をご支援ください。

第2学年 … 「夢・描写プログラム」がスタートしました。2年生は1年間の活動をベースに、実際に夢を実現するための活動を行う時期に入りました。4月から「テーマ研究」の具体化が始まり、研究過程に関するそれぞれの担当の先生との話し合いが行われております。

そして夏季休業中には、必要な研究機関やプログラムを各グループで選択しながら主体的に活動し、最終的に1年間を通じた研究成果をまとめることになっております。

この活動を通じて、将来の研究対象や研究の手法を学び、納得できる進路選択につなげて欲しいと願っております。

また、現2年生は新入試スタートの学年でもあります。その関係で来年度入試において、eポートフォリオや英語外部検定試験が必要とされることが想定されます。したがって、夏季休業中に本人の体験活動の経験や英語力を高めておく努力が求められて参ります。夏季休業中の貴重な時間を上手に活用して、ご家族で話し合って本人の活動をご支援願いたいと思います。

第3学年 … いよいよ最後の夏休みがやって参ります。6月マーク試験の結果が届いていることと思いますが、少しずつ現実を見すえた具体的な進路をお考えいただく時期になって参りました。昨今の入試状況につきましては、先日の学年部会でもお話した通りなのですが、一口に申し上げれば、「国立離れ」「私立難化」の傾向と言えます。5教科型で努力している本校生にとっては、むしろ追い風であり、おおきな不安はないと信じております。

進路実現のカギは、この「夏休みの過ごし方」にあると言えます。部活動引退後の時間の使い方を試行錯誤しながら確立して、自信を持てる力を身につけて欲しいと思います。

オープンキャンパスについては、昨年までに十分に参加してきていると思いますが、第1志望としている大学については、今年も参加して欲しいと思いますので、ご配慮いただきたいと思います。

3. 2020年度入試について（現3年生）

2学期に入りますと、間もなく学校祭が行われますが、それに続いて、とても過密なスケジュールで、入試準備が始まります。まず、推薦・AO関係の全体説明会及び希望者説明会、センター試験願書出願説明会、校内模試、進路検討会等が9月中にぎっしり納まっております。遅刻や欠席が情報もれにつながらないように、注意しながら指導して参りますが、できるだけ全体での指導と一緒に聞いていただき、間違いの無いスケジュールで進めて欲しいと思いますので、ご家族におかれましても、お子様と十分に情報交換を行い、日程の確認をお願い申し上げます。

最後のセンター試験世代と言われますが、別に最後であろうと無かろうと、今までと同じです。慌てず焦らず、自分のやるべき事をしっかりとやる、ということに尽きます。次年度からの入試改革がさかんに報道されていますが、進路選択について踊らされることなく、落ち着いてご検討ください。不明な点がございましたら、ご相談ください。

4. 2021年以降の入試について（現1・2年生）

新入試に関する情報として、eポートフォリオや英語外部検定試験、国公立大学における推薦・AO入試枠の拡大、調査書の変化、主体性の評価などが報道されておりますが、本校では数年前から対策に取り組んでおり、保護者の皆様にご心配をおかけしない準備を心がけて参りました。特に、「石高手帳」の導入や「夢・創造プログラム」のスタートは、新入試に向けた本校生の大きな力になると考えております。

現在、課題となっているのが、英語4技能検定への対策です。文科省の呼びかけにより、多くの大学で入試改革が進められ、その中でもこの英語外部検定が最も大きな影響力を持っていると思われま

す。1・2年次に「GTEC」の4技能検定を受検し、英検につきましても適宜受験指導を行っており、生徒の準備は進んでいると思いますが、このたび新たに、2年次の11月から「英語外部検定を利用するための共通ID」の登録が必要になることが発表されました。この作業は、センター試験の出願と同程度の作業が必要となり、生徒にとっても大きな負担となることが予想されます。前述いたしました、入試情報の伝達につきましても、できるだけ全体指導をもとに情報の齟齬（行き違い）がないよう配慮して参りますが、ご家族で学校行事の日程を共有していただき、コミュニケーションをとっていただきたいと思います。ご多忙のところ誠に申し訳ございませんが、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

5. 大学の見方・考え方

大学を選ぶ際に、どんな基準で選択されているのでしょうか？かつての大学のイメージはだいぶ変化し、偏差値も大きく変化して大学ランキングも入れ替わってきております。また、少子化の影響もあって、定員割れを起こす大学もあります。その結果「就職率」を全面に出して学生獲得に乗り出す大学もあり、大学教育を就職指導に切り替えてしまう大学も見られるようになりました。（首都圏の私立大学に顕著）

一方私立大学の定員厳格化の影響により、地方の大学の倍率も大きく変化してきており、以前の入試とは様変わりしております。

大学を選択する際には、複数の大学・学部を比較検討され、現在の学生の育成方法をよくご覧いただきたいと思います。入学すれば終わり、ではなく入学後の学びにこそ違いがありますので、お子様の将来をご一緒にお考えください。よろしくようお願い申し上げます。

毎回申し上げますが、高校生（16歳～18歳）の多感で大きく成長する時期は一生に一度きりです。男女共学の素晴らしい環境のなかで、共に楽しく学ぶ姿の結晶は、学校祭に大きく花開きます。是非ともお子様の楽しく学ぶ姿をご覧下さい。（8／31一般公開）

本校生には、勉強だけの生活ではなく、男女共同参画の視点からも、素晴らしい仲間と共に学び、かけがえのない青春の日々を送って欲しいと心から願っています。意欲を持って学び、将来について真剣に考え、主体的に課題を解決していく、そんな生徒達に私達職員もエールを送り続けます。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

進路指導部